



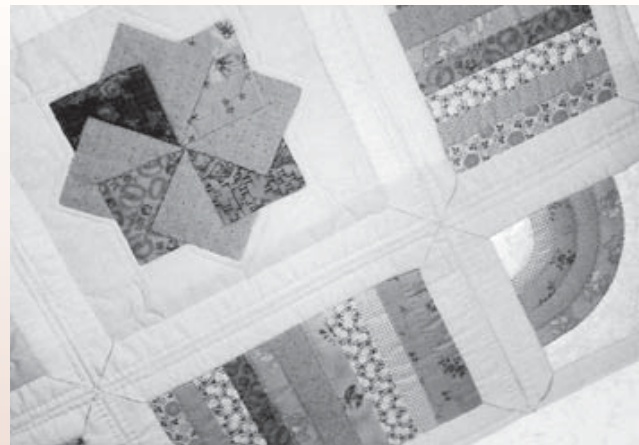
**12月企画展**  
**11月21日(火)～12月10日(日)**  
 (月曜休館・10日は12時まで・入館無料)

**第7回 ゆみ'sキルトグループ展**  
 ～布あそび 2006～  
 テーマ “綴(つづり)”

12月の久我記念館企画展は、11月末から12月上旬にかけて「第7回 ゆみ'sキルトグループ展 ～布あそび 2006～」を開催します。2年に1回開催されるこの企画展は、今回で7回目を迎えます。作品点数は約100点です。

今回のテーマの「綴(つづり)」という字は、「糸」と「綴(テツ、物は相連なっている状態)」から成り立っています。1点1点の作品は、布と布とを糸で綴っていく細かい手作業によって生まれていますが、その中には作者一人ひとりの作品に対する思いが当然綴られています。

作品にこめられた作者の意図を、想像しながらご覧になっていただければと思います。



● **主催者 大石由美子さんのメッセージ** ●

「人が好き」「布が好き」を、月日と共に綴りあわせ夢中で自分を表現してきました。

秋の深まりを感じる美術館で、皆様とお会い出来ます事を、大変嬉しく思っております。

今回は、ラウンドロビンキルト「日韓交流」に出展し、新たな勉強をさせていただきました。是非、ご覧になって下さい。お待ちしております。

**期間中イベント**  
 パッチワーク実演コーナー  
 11月26日(日) 午後1時～午後3時30分  
 ● **問合せ先** 久我記念館 ☎ 932-4987

**11月の企画展**  
 「郷土を描く」展  
 10月29日(日)～11月12日(日)  
 (月曜休館・入館無料)

**「ふくおかネット申請」が始まりました**



ふくおかネット申請のトップ画面のイメージ

「ふくおかネット申請」とは、インターネットを使って申請・届出が出来るサービスです。これまで、役場の窓口や郵送、電話などで行なっていた手続きが、24時間365日、自宅や職場のパソコン、携帯電話から申し込むことが可能になりました。このネット申請の運営は、福岡県および福岡県内の複数市町村で構成する「ふくおか電子自治体共同運営協議会」(現在県内68団体内47団体が参加)で行います。

▼ **開始時期** 平成18年10月30日(月)

▼ **利用可能手続き** イベント・講座の申し込み、水道(下水道)の使用開始・中止申込み、公営住宅の入居申込み、業者登録、施設予約、住民票の交付予約

▼ **利用可能団体** 久留米市、柳川市、朝倉市、筑後市、大川市、宗像市、須恵町、大刀洗町、矢部村(団体の増減の可能性があります)

※市町村によって、利用できる手続きは異なります。

※利用可能団体は順次、拡大する予定です。

▼ **利用方法** 次のHP、または各市町村のHPから利用できます。

・PC <http://www.shinseifukuoka.jp>

・携帯電話 <http://k.shinseifukuoka.jp>

▼ **問合せ先**  
 福岡県高度情報政策課  
 ☎ 643・3197

**本町では住民票の交付予約が可能になりました。**

10月30日にスタートした「ふくおかネット申請」について、本町では現在のご住所住民票の交付予約のみの利用が可能です。住民票の交付予約については、受け取り希望日の2開庁日前から予約申請が可能です。詳しくは、問い合わせください。

▼ **問合せ先**  
 役場住民課 ☎ 932・1151

**歴史民俗資料館**  
**昔の生活民具シリーズ…60**

かさ

みの

今、映画やテレビの時代劇などで見られますが、今回は、蓑と笠を紹介します。

蓑は屋外で農作業や外出の際に、体へ雨や雪がかかるのを防ぐために着用し、背中と肩、腰を覆うもので、現在でいえば雨カッパといったところですね。

笠も同じようには屋外での雨や雪、強い日差しを避けるために頭にかぶるものです。

柄を手にもってさす傘(かさ)とは、違い両手が空いて自由に使えるので、主に農作業時に使われました。

※このシリーズは歴史民俗資料館の資料紹介で、お年寄りには往時をしのぶ「緒」に、若い人たちには昔の暮らしを知る手掛かりになればと企画したものです。スタートしたのは平成12年6月号からでした。新しい企画もあり今回で終わります。ご愛読ありがとうございました。

写真の蓑は、横幅が70cm、丈は97cm、笠は、ひさし回りの直径が39・5cm、高さが12cmです。

参考文献、「日本民俗事典」。

